

「ヨコハマトリエンナーレ 2011」の中間報告について

1 概要

○ 「ヨコハマトリエンナーレ 2011」

OUR MAGIC HOUR —世界はどこまで知ることができるか?—

会 期：平成 23 年 8 月 6 日（土）～11 月 6 日（日）（83 日間 ※休場日を除く）

会 場：横浜美術館、日本郵船海岸通倉庫（BankART Studio NYK）、その他周辺地域

参加作家：77 組/79 名

主 催：横浜市、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会

共 催：公益財団法人横浜芸術文化振興財団

支 援：文化庁（国際芸術フェスティバル支援事業）

入場料：特別連携セット券 一般 1,800 円/大学・専門学校生 1,200 円/高校生 700 円

トリエンナーレ入場券 一般 1,600 円/大学・専門学校生 1,000 円/高校生 600 円

特別連携プログラム：BankART Life III（新港ピア）、黄金町バザール 2011（黄金町エリア）

2 入場者数（9月4日現在）

71,696 人（目標 150,000 人）

<内訳> 有料入場者数 49,569 人

有料会場での無料入場者数（中学生以下等） 16,503 人

無料会場入場者数 5,624 人

<会場別内訳>

	横浜美術館 (有料会場)	日本郵船海岸通倉庫 (有料会場)	ヨコハマ創造都市センター (無料会場)	計
8/6～9/4	45,562 人	20,510 人	5,624 人	71,696 人

※ 8 月 6 日～9 月 4 日（26 日間）

※ 1 日平均 2,758 人（平日 2,332 人、土日休日 3,438 人）

3 入場券販売状況（9月4日現在）

約 53,000 枚（目標 75,000 枚）

<内訳> 前売券 約 25,000 枚

当日券 約 28,000 枚

4 今回展の特徴

- ・ 初めて横浜美術館が会場となり、美術館と倉庫という対照的な展示空間を活かした特色ある展示となっている。
- ・ 会期が夏休みと重なり、小中学生の来場者が多い。（前回展 9/13～11/30）
- ・ 周辺で特別連携プログラム（BankART Life III、黄金町バザール 2011）が同じ会期で開催されているほか、60 を超える連携プログラムが開催されている。
- ・ 会場間無料バスの運行や、「OPEN YOKOHAMA 2011」キャンペーンを同時に開催し、集客や回遊性を高めている。